













令和8年3月16日

八代市議会議長 高山 正夫 様

提出者 八代市議会議員

賛同者

大倉 裕一 
橋本 徳一郎 
山本 幸廣 
山本 敬晃 
堀口 晃 
中山 諭扶哉 
野崎 伸也 
谷口 徹 
西村 英昭 
蓑田 由貴 
小川 貴史 
たみみ 
水田 千春 

発議案第 1 号

水俣病被害者救済と水俣病問題の早期解決を求める意見書案

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。



水俣病被害者救済と水俣病問題の早期解決を求める意見書

(案)

水俣病は、不知火海沿岸地域住民に塗炭の苦しみを与えた。それは、健康被害だけでなく、地域内外の差別や偏見など地域住民の分断と混乱をもたらした。

水俣病も公式確認から70年という長い年月が経過しようとしている。しかしながら、いまだに救済を求める人たちが居るのが現状にある。

このことは、住民のいのちと健康を守るべき行政にとって憂慮すべき事態であり、被害者たちが生存しているうちに解決しなければならない緊急かつ重要な課題である。

加害企業及び政府には、ここまで水俣病問題が長引いている根本を認識していただき、被害者一人ひとりに向き合い、寄り添った人権重視の対応をお願いしたい。

同時に「国は、水俣病被害者の声に真摯に向き合い、水俣病問題を早期に解決すべき」という国民の声に真摯に応えるべきである。

本市にも水俣病被害者の未救済者が存在されることを踏まえると看過できない問題であり、水俣病問題の解決は、熊本県民にとって放置できない緊急かつ重要な課題である。

国が、そのリーダーシップを発揮し、一日も早く、残された水俣病被害者を救済し、水俣病問題を早期に解決していただくよう心から要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年3月23日

八代市議会議長 高山 正夫

衆議院議長	森 英介	様
参議院議長	関口 昌一	様
内閣総理大臣	高市 早苗	様
環境大臣	石原 宏高	様